

# 引越しの前日までにすること

( )

(平成 年 月 日まで)

チェック

## 1. 旧居の掃除をすませる

引越しをすべて済ませて、改めて旧居に行くことができるなら、何も無い部屋を掃除した方が作業もはかどりますが、それができない場合などは前日までに部屋全体の掃除を完了しておきましょう。キッチンや洗面所、風呂場などの水回りは特にきれいにしておきましょう。

また、貸主や不動産管理会社が退去後のハウスクリーニングを敷金の中から要求することもあります。事前に、貸主や不動産管理会社に対し「何を敷金から支払わなくてはならないのか」を確認しておけばトラブルを回避することができるでしょう。

## 2. 新居の掃除

もし、引越先がそう遠くない場所で、行き来が可能ならば、引越の荷物を運び込む前にフローリング床や畳、棚や押入などきれいに掃除しておきましょう。新築物件やハウスクリーニングされた物件でもほこりはあるはず。一度、家具や家電を置いてしまうと、その下を掃除するのは大変です。

## 3. 近所へ引越の挨拶をする（旧居）

引越し当日の迷惑もあるので、できれば前日に近所の家庭へ挨拶にいきましょう。貸主が近所に住んでいる場合も同じです。単なるマナーやエチケットという側面もありますが、旧居を訪ねてきた人へ引越した旨を告げてもらえるということもあるでしょう。

## 4. 新居での挨拶に持参するものを用意しておく

新居での挨拶はできるだけ早くすませておきたいものです。引越し直後はなにかと忙しいので、引越し前に挨拶の品を用意しておきましょう。

石けんやタオル、お菓子、お茶、洗剤などが定番です。

## 5. 最後の確認

庭やベランダに置き忘れた荷物はないか？自分で購入した照明器具をつけっぱなしにしていないか？近所の人から借りているものはないか？こうしたチェックは何度も何度も繰り返しておきましょう。新居が遠い場合は特に注意が必要です。

## 6. 子供の転校に伴う挨拶

前日までに転校の手続きは終了しているはずですが、できれば子供の通っていた学校には挨拶に行った方がよいでしょう。また、子供が友だちへ新住所を伝えていないこともあるので、連絡先などを書いたカードなどを持たせるとよいかもしれません。

## 7. 貸主・不動産管理会社へ連絡する（新居）

可能ならば「明日、引越します」と連絡を入れた方が何かと好都合です。その際、部屋の明け渡しについて、誰がいつ明け渡しの手続きに来るのかを事前に聞いておきましょう。

## 8. 犬の登録変更

市区町村役場または所轄の保健所によっては「廃犬届」が必要になるところも。地域の市区町村役場などに問い合わせてください。

「廃犬届」を出す場合は印鑑が必要です。また、旧住所で交付された畜犬鑑札、狂犬病予防注射済証は新住所での再登録の際に必要です。